

レジャーダイビング認定カード普及協議会
(Cカード協議会)

2016年7月定例会議議事録

- ◎ 開催期日：2016年7月21日（木） 午後16時00分より
- ◎ 開催場所：(株)PADI アジア・パシフィック・ジャパン
- ◎ 出席者（アルファベット順：敬称略）

☆BSAC JAPAN	株式会社BSAC	七尾	慶一
☆JCS	(株)日本海中技術振興会	鷹野	与志弥
☆CMAS=JEFF	株式会社ジェフ	後藤	勝之
☆JUDF	全日本潜水連盟	吉村	忍
☆NAUI	株式会社ナウイエンタープライズ	和泉	芳則
☆SSI	株式会社SSIジャパン	栗山	禎尚
☆STRAS	水中活動研究所有限公司	岡本	康男
☆オブザーバー	JRDA	有原	義則
	DANジャパン	小柳	
		小島	朗子

1. 進行／記録：事務局 宗田

2. 定例会議事

① 安全対策セミナー大阪会場支払いの件

- 事務局より、安全対策セミナー大阪会場の会場費¥145,800ーについて説明があり、C協加盟11社による均等負担の依頼があった。
- これに対し、定例会出席者の承諾が確認された。

② 以下のJLDA業界動向調査の件（調査内容に関する意見のすり合わせ）

- JLDA有原氏より、「動向調査事前ヒヤリング」資料について説明があり、同資料の設問に関する意見交換が行われた。
- 設問内容に若干の課題が浮上し、JLDAにて再度調整することになった。
- 前述とは別に、当該動向調査を遂行するにあたり、業界内各組織から実行委員を選出しプロジェクト化したいとの有原氏の意向が示され、C協から事務局宗田が実行委員として参加することが決められた。

③ 体験ダイビング提言の件

- 6月定例会にて、安全強化を前提とした体験ダイビングプログラムのあり方を明文化し提言することが決められ、これに基づく草案が事務局より提案された。
- 同草案に対し、定例会参加者より、健康面の加筆、必要スキルや知識の更なる具体的説明の付記が必要との意見が挙がり、再度修正を加えることになった。
- 本件を継続案件とし次回定例会までの間、C協メーリングリストを活用し意見交換をすることになった。

以上